

トキ次郎奮戦記

2023/10/8 能登トキファンクラブの来年度の主活動に、ゆるキャラのトキ次郎の制作を決定

2023/12/15 トキ次郎のフィギュアを作成する



2023/12/25 北國新聞と北陸中日新聞の取材を受ける、年明けの1月3or4日に新聞に掲載の予定

2024/1-/1 能登半島地震発生トキ次郎はボロボロになりました



新聞掲載実現せず

町民のみなさんが壊滅的な被害を受け、能登トキファンクラブの会員の皆さんも同様の被害状況で能登全体が悲痛のどん底に沈んでいるのにトキの放鳥は勿論、トキ次郎どころではありませんでした

2024/4/14 北國新聞に「心寄せるシンボルを」と題しくまモンを育んだ元熊本県職成尾雅貴氏の記事で「くまモン」が熊本地震でのシンボルとして大きな役割を果たし、復興から飛躍へと熊本を導いた経緯を知りました。

一度は絶滅したトキを再び能登の大空に復活させ、能登地域に活力を生みだそうとする放鳥を支援する「能登トキファンクラブ」の活動の一つである「トキ次郎」の制作はトキの放鳥支援を超え地震からの復興のシンボルに成りうるのではと改めてトキ次郎の制作に取り組み始める。

2024/4/15 トキ次郎の頭の制作が始まる

厚紙を円錐状に12枚用意し地球儀を作る要領で張り合わせ球体を制作し、その上に新聞紙を5層ノリで張乾燥後紙粘土を3回塗り付けることにより制作

2024/5/3

胴体の制作に取り掛かる身長は175cmと決める
針金で球体を作り、厚紙を提灯のように針金の上
に張り付けその上に新聞紙を3重に張、その上に
障子紙を3重にノリではり、更に上に紙粘土を3
重に塗り乾燥させることにより作製する



2024/5/20

足部の制作に取り掛かる、脛はモウソウ竹を使用
足は発泡スチロールで、尻尾と羽は床用断熱スチロールで制作
表面を新聞紙で覆いその上に紙粘土を塗りました

2024/5/25

半ズボンなど装身具を作成する

2024/5/28

着ぐるみの予定でしたが紙粘土は強度がなく
1度は着れても破損が考えられ、今回は人形
として利用することにする



2024/5/31



トキ次郎が8羽のスマール
トキ次郎が8羽のスマール
共に完成

当初は175cmでしたが足が長くバランス取れなかつたので足を10cm切ったため身長は165cmになりました

2024/6/12

穴水町大町の吉村商店の前に初出現

2024/6/17

トキ次郎が穴水町第3仮設に出現したことがNHKかがのとで放映される

2024/7/12

北川内科クリニック待合室に出現

2024/7/21

穴水町長谷部まつり舞台前に出現

2024/7/23

334-D地区3R3Zライオンズクラブ役員会場に出現（羽咋市）

2024/8/1

334-D地区3R3Z七尾ライオンズクラブ家族例会に出現（七尾市）

2024/8/7

くまモン初対面



8月27日 334D地区3R3Z（能登地区7ライオンズクラブ）前ゾンチャーパーソン
杉本茂氏からトキ次郎のぬいぐるみ制作予算がキャビネットで承認された
と連絡がありました。

8月28日 くまモン育ての親である成尾雅貴氏にくまモンを制作した業者への紹介を
お願いします、当日は超大型台風10号が鹿児島県に上陸する直前で、成尾氏
の住む熊本と業者のある宮崎にも大きな被害を及ぼしていました

くまモンに負けないように手も足も出るしかしたトキ次郎
を制作



12月24日 後藤洋子さんによる穴水駅でクリスマスコンサート
トキ次郎参加、トキ次郎の歌「能登の大空に共に羽ばたこう」を披露

12月27日 トキ次郎の着ぐるみの形が決定しキグルミビズ・ビズに年明けからの
製作を依頼する



2月3日 特許庁が商標登録が出願書を適法と認め審査に入る

2月15日 能登トキファンクラブがトキ次郎と共にサタデイウオッチ9で全国放送さ
れる

新聞でも北國、北陸中日で報道されるとともに、共同通信により全国の地
方死新聞で報道される

2月18日 輪島市かわい保育園で越戸氏による紙芝居でトキ次郎講座を開き園児に
トキ次郎と園児が交流する



園児「空で早く見たい」

2025.2.19

能登での放鳥が決まったトキを題材にした催しが18日、輪島市のかわい保育園で行われた。園児12人がトキの紙芝居や人形を楽しみ、優美な姿が能登の空で見られる日を心待ちにした。

企画した輪島塗職人の越戸光雄さん(74)は輪島市が、本州最後の野生トキ「能里」の紙芝居を上演し、「能登トキファンクラブ」

輪島で紙芝居や人形

(穴水町)の宮下源一郎代表(77)がトキの動画や人形を披露した後、自作のステッカーを贈った。柿美幸さん(75)は約10年前に同市に飛来したトキの様子を紹介した。越戸さんは「能登復興のシンボルとして放鳥が成功してほしい」と願い、男児は「トキの鳴き声がかわいかった。早く見たい」と話した。

